

昭和十九年七月一日

陸軍省

大塚
...
...
...
...
...
...

東京小澤

陸軍省

陣中日誌

自昭和十九年七月一日
至昭和十九年七月三十一日

獨立混成第二旅隊上兵中隊

五月二日

曇

日曜

電車

列車内

下達法 各分隊長及各肉係者日集之出達

臨時召集ニ應召本二隊ノ隊長ノ命令

第二小隊第一分隊長ノ命令

一 午前游泳不能者 游泳教育ニシテ海濱ニ於テ

一方借用物品、返納準備及倉内外整理

午後借用物品返納及倉内外大掃除前

一 遊米 五月十日 備前縣五日村大橋 訓練

習志野廠倉出稼 一時五分 二日一冊三合應倉

一 津田沼 訓練 五月十五日

一 津田沼 訓練 五月十五日

一 津田沼 訓練 五月十五日

陸軍

靜岡駅着二時三十分時靜岡陸軍病院より派遣

衛生部員二列渡シ入院スルニ至ル

一分隊長以上 教育 訓練

自衛隊隊員及遺棄時於ケル左列

置付テ入隊 訓練

引續キ分隊長於テ小隊長監視ニ付テ教

育(第二號車輛於テ)

二 五月二日 町司港駅到着 各下等ノ間司各

部附近於テ大休止

同時先着者高橋隊長以テ六名余指差下入

三部 器材ノ卸下及積載

四 獨居第一五尺備命第一號

部隊ノ主力ヲ以テ今夜町司出發大分縣川南

五月三日

雨

月曜日

電車

列車内

五月二日

曇

日曜

電車

列車内

乾進ヲ命^キル
 一 各隊ハ續部隊ヨ合シ別表ノ如ク部隊編成ス
 二 R本部第一大隊ハ二二〇迄。第二隊岸壁ホーム
 一 集合シ人員搭載時、指示係ヲ塔乗ス
 三 第二大隊ハ二二〇迄。第二隊岸壁ホームニ集合シ
 二二〇ヨ發列車ニ人員搭載時、指示係ヲ塔乗ス
 ス
 四 第三大隊在洞司部隊ハ二二〇迄。第一隊岸壁
 壁ホームニ到リ第三大隊長、指揮下ニ入ルベシ
 五 第二次列車輸送指揮官、西村表ヲ乘ス
 六 IATA P 各中隊内司到着後 R長 指揮下
 入り大休止後 人員掛、指示ニ依リ二二一ヨ
 發列車ニ塔乗ス
 各隊ハ火砲彈藥完全ヲ携行スルベシ

東京小港線

陸軍

個人装着ニ依リ本部通信器ヲ携行シ一週間分
 携行スルベシトス
 一 先發者ハ御神中尉ヲ指示係現任務ヲ整理
 二 後水隊ニ追付テ
 三 御子神中尉ハ隊員及荷物ヲ指揮シ船舶
 四 司令部ニ連絡シテ速ニ船舶ヲ運入ス
 五 森岡中尉ハ後續列車ノ荷物搭載ニ任ズ
 六 余ハ二二〇ヨ發列車ニ到リ第二次列車トス
 前進ス
 三内ノ隊長 R長
 美岡大佐
 三前項命令第一項ニ基キ大島佐尉以下ニ各門司港
 殘置シ御子神中尉ヲ指揮ス
 六 中隊主力ヲ洞司表ヲ乘シ(二二〇)列車ニ塔乗ス
 大分縣川南ニ向ヒ前進ス

六月四日

晴

火曜日

宿營地

宮崎縣

宮崎郡

佐原町

一 獨混隊第一五〇〇名 於三車 七時 歸隊

二 各隊ハ見出遊ニ下車準備アリテ各隊ハ

各隊ハ三納代取到着ニ入員押送原少尉

指示依リ下車ニ列車ニ面シ四列横隊ニ集合シ

直ニ人員器械ノ異動有無ヲ報告スル事

4 各隊ハ下士官一兵三下車準備同時ニ佐藤

少尉下士官一兵三下車準備同時ニ佐藤

5 佐藤少尉ハ兵器資材ヲ卸下シ

6 貨物卸下附近警式ヲ為シ第三中隊ヨリ

下士官一兵四列車到着後卸下ニ掛替ニ準備

7 餘ハハ五五五五五五五五五五五五五五五五

陸軍

回曹命令余等領者 塗下并差遣 美田大佐

下達命令受領者 集三田 記

二 四三三三三三三三三三三三三三三三

三 佐藤隊長以下一等一名 同取於テ

四 獨混一五〇〇名 作宿命 第二號

一 佐原町 連射砲 隊砲 五兵中隊

二 佐原町 連射砲 隊砲 五兵中隊

三 佐原町 連射砲 隊砲 五兵中隊

四 佐原町 連射砲 隊砲 五兵中隊

五 佐原町 連射砲 隊砲 五兵中隊

六 佐原町 連射砲 隊砲 五兵中隊

七 佐原町 連射砲 隊砲 五兵中隊

八 佐原町 連射砲 隊砲 五兵中隊

九 佐原町 連射砲 隊砲 五兵中隊

十 佐原町 連射砲 隊砲 五兵中隊

異状、有無ヲ報告スルハ、
 〇 日直勤務ハ各本隊毎ニ服務スルモ、
 獨立中隊ニ在リテ本四日、日直將校北村中尉
 服務スル、各大隊ハ電語ヲ以テ、
 直將校ニ官氏名ヲ報告スル、
 〇 各大隊ハ二〇日、異状、有無ヲ日直將校ヲ以テ
 報告スル、
 〇 荷物集積所ハ、格納庫トス、
 〇 荷物集積所、監視、爲メ、
 上等兵ニ兵八ヲ差出格納庫、
 於テ格納庫監視
 視衛兵ニ服務スル、
 〇 門計取、
 一四、ヨリ服務スル、
 〇 警急集合所ハ、
 位置ハ格納庫東側トス

東京小隊

陸軍

各大隊ハ宿営地附近適宜ノ位置ヲ選
 〇 空襲ニ際シテハ、
 〇 給與ハ夕食ヨリ、
 〇 余ハ宿営地ニ在リ、
 〇 各大隊獨立中隊、
 集合スル、
 美田大佐
 下達該命令受領者ヨリ、
 五、一三四、三納代、
 着、
 六、獨立混成第一五、
 獨立混成第一五、
 滞在間左ノ如ク、
 引續キ若三、

四飛行場衛兵 四連十第西中隊

備美日 第五中隊

大島今第六中隊

但當部中隊、明書、口業、亂傷兵、

(本部衛兵 五日 凡 砲

二日、三日、四日、五日、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月、

二日直輝校、如、服務、

五日 古川中尉、

六日 杉浦中尉

七日、八日、九日、十日、十一日、十二日、

三日、四日、五日、六日、七日、八日、九日、十日、十一日、十二日、

日朝、

五日、

六日、

急呼報告、日直輝校

四、明日、

各大隊、各大隊軍医宿舎

本部、

五、

二、中作宿命、第三號

三、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

七月五日 晴

七月六日 日直將校 村長公尉
 同 同 下官 嶺 軍曹
 頭書 通り 服務スベシ
 給與 本四日夕食ヨリ 倉主 給與ス
 公南 他 一 般ニ 外出ヲ 禁ス
 警急 集合所 中隊 倉管 地 前 道路トス
 夕 余ハ 佐土原 町 坂東 寅雄 在リ
 中隊長 北村 中尉
 下 違法 全員 集メ 口達ス
 一 九 三 〇 配宿 終了
 中隊長 午前午後 共 雜田原 飛行場ニ 航空輸
 送ニ 閉ル 打合ヒ 出場ス

東京小隊

水曜日 宿營地 宮崎縣 佐土原町 獨混五作命 茅三號 八路 七月六日 水曜日 宿營地 宮崎縣

二 午前 小隊長以下 應用 体操
 午後 一 三 〇 〇 豫防 接種 (ポスト)
 二 四 〇 〇 武器 検査 及 軍裝 整備
 二 午 前 中隊長 北村 中尉 航空 輸送 閉ル 細部
 打合ヒ 爲 新田原 飛行場ニ 出向キ 二 三 〇 〇
 歸宿
 小隊長 井上 少尉 以下 完全 軍裝 時ニ 於テ
 重量 測定 及 輸送 準備

宮崎郡
佐土原町

佐藤伍長以下十名、輸送隊へ兵器資
材、整備、為、新田原飛行場へ出向す
一、二、三日、歸宿す
北村中尉、井上少尉、新井、灘、兵二名、
無空輸送、因、細部、打合せ、為、
新田原飛行場へ出向す、二、三日、歸宿す
下士官以下休養

二 中作命 第五號
兵中隊命令

七月六日 二、三、四、日
佐土原町

一 第一中隊、獨之混成第一五聯隊へ空中輸送、依り、那
覇、轉進ヲ命ゼラル
二 第一中隊、獨之混成第一五聯隊本部並、第二、三、四、隊、一、部
へ、轉進セリ。
三 第一中隊、獨之混成第一五聯隊本部並、第二、三、四、隊、一、部
へ、轉進セリ。
四 第一中隊、獨之混成第一五聯隊本部並、第二、三、四、隊、一、部
へ、轉進セリ。
五 第一中隊、獨之混成第一五聯隊本部並、第二、三、四、隊、一、部
へ、轉進セリ。

東京小隊

七月七日
金曜日
曇後雨



4 中隊主力、明七日、爾余、八日、日本、航空輸送會
社、空中輸送、依り、那覇、向、轉進セントス
5 井上少尉、第一回輸送部隊、指揮、輸送ヲ
担任ス
6 第一回輸送部隊、明七日、五、六、日、出發準備
ヲ完了ス
7 余、第一回輸送部隊、指揮、明七日、五、六、日
、那覇、向、前進ス
中隊長、北村中尉
下達法、全員、集、口達ス
一 第一回輸送部隊、中隊長、北村中尉以下、十名、
宿营地、宮崎縣宮崎郡佐土原町、五、六、日、出發
行軍、依り、新田原飛行場、七、八、日、到着ス

陸軍

嶺營地
沖繩縣
中頭郡
嘉手納町
縣之農
林學校内

日本航空會社輸送機八機二分飛 沖繩縣中頭
郡讀谷山讀谷飛行場 向各々八三〇乃至一〇〇〇
離陸 同飛行場 一〇三〇乃至一〇五〇着陸 兵
器資材ヲ整理 後大休止ス
二後送セラル兵器資材受領 爲村上少尉以下二三名ヲ
讀谷山飛行場ニ残置 村上少尉以下五十五名ハ
部隊集結地タル沖繩縣中頭郡嘉手納町縣之農林學
校 向上一四〇〇發 行軍 一五〇〇到着
部隊長美田大佐 指揮 入リ同校ニ宿営ス
三讀谷山飛行場ニ残置セル村上少尉以下五十五名
一九三〇同校到着ス
四村上少尉以下五十五名ヲ輸送 部隊ト會伍在原
町ニ残置ス
五 上中作命 第六號 八日 讀谷山飛行場ニ會

陸軍

三兵中隊命令
一 現在送リ得セル情状ニ依リ
二 聯隊ハ時嘉手納農林學校ニ集結中ニ於テ
三 中隊ハ晝食後 一四時現在地出發 嘉手納農林學校
ニ向キ發進ス
四 高橋伍長ハ兵入ヲ指揮シ現在地——嘉手納農林學校間
ニ器材ヲ輸送シ任ス
五 藤本少尉ハ第三小隊ヲ指揮シ嘉手納農林學校ニ向ヒ
前進ス
六 村上少尉ハ器具ヲ高橋伍長ニ依リ第九中隊ニ到着
迄現在地ニ残留シ第九中隊到着セバ塔載器材ヲ受領シ
嘉手納農林學校ニ至ルベシ
爾後ニ關シテハ傳令ヲ以テ中隊ト連絡ス

余ハ現在地ヲ出發シ第三小隊ヲ共ニ嘉手納ニ向ヒ前進ス

六 獨逸五作命 第五旅 精進 嘉手納

一 沖繩本島附近ニ未ダ敵ヲ認メズモ情勢急迫セルモノナリ

二 先ノ兵力ヲ嘉手納附近ニ集結シ爾後ニ行動ヲ準備ス

三 各隊ハ北進行場ニ到着セリ遂次兵力ヲ嘉手納附近ニ集結シ爾後ニ行動ヲ準備ス

陸軍 東京小隊

指示ニ依リテ各隊ハ北進行場ニ到着セリ遂次兵力ヲ嘉手納附近ニ集結シ爾後ニ行動ヲ準備ス

四 集結間ニ宿營給養ハ特設警備第二四中隊ノ設営セシ處ニ依リテ行ハル

五 余ハ縣立農林學校ニ移リテ自ラノ指揮ヲ行フ

六 下達法令受領者ヲ集メテ口達筆書シテ各隊ニ下シ

服務中隊

第三中隊

本司ニ報告ヨリ服務シテ細部ニ関シハ司令

七月八日
土曜日
晴

部隊本部ニ連絡スルニ
為成 司令一 歩哨掛ニ 歩哨六 吹一
服務従前通り

會報

一 傳染病(赤痢)發生地ニ付生水ヲ飲用ヲ嚴禁ス
軍醫檢査ノ結果ニ依リ生水ニ多數ノ病原菌ヲ發見ス
此營分間將校以下(舍内外ヲ向テ)上衣ヲ脱スルコトヲ得
但舍外ニ出スル場合ニ於テハ必ず帶刀(劍)トシ

二 夕食ヲ必要トスル中隊ハ員數報告スルコト

一 第三小隊坂口伍長以下ニキテ無器故冬資材貯蓄
二 第二回輸送部隊廿七少尉以下 十三名ハ宮崎縣

東京小隊

宿營地
中頭縣
嘉手納町
古堅國民
學校

宮崎縣佐土原町ニ於テ新田原飛行場ニ六
到着日本航空輸送會社ノ輸送機ハ機一分乘
飛行場着陸飛行機ニ依リ中頭縣中頭町嘉手
納町縣立農林學校ニ一四三機到着
中隊長ノ指揮ニ依リ
三 器材卸下及運搬ノ為派遣機長以下二十六名
八一八機長
四 一三三機長中隊員古堅國民學校ニ移動ス
五 行事
午前 第一回輸送部隊 舍内整理及移動
午後 第二回輸送部隊 舍内整理及移動
六 二日 宿營準備完了

七月九日 午前 應用体操及器材、整備
日曜日 午後 糧秣運搬、應炊事、掛下士官、許兵十五名

晴

宿營地

沖繩縣

中頭郡

嘉手納町

古堅国民

學校

1. 午前 應用体操及器材、整備
2. 午後 糧秣運搬、應炊事、掛下士官、許兵十五名
3. 各分隊長、學科、砲、陣地構築、付テ
4. 獨之塚成第五聯隊、命令、入隊、
5. 日 命令、
6. 七月九日、
7. 衛兵、右、母、差、シ、服務、ス、
8. 九月、日、直、司、令、
9. 日、課、時、限、三、時、
10. 起、床、及、日、朝、
11. 食、
12. 食、

學校
中頭郡
沖繩縣
宿營地

1. 午前 應用体操及器材、整備
2. 午後 糧秣運搬、應炊事、掛下士官、許兵十五名
3. 各分隊長、學科、砲、陣地構築、付テ
4. 獨之塚成第五聯隊、命令、入隊、
5. 日 命令、
6. 七月九日、
7. 衛兵、右、母、差、シ、服務、ス、
8. 九月、日、直、司、令、
9. 日、課、時、限、三、時、
10. 起、床、及、日、朝、
11. 食、
12. 食、

東京小隊

陸軍

診察 料理 食 一七三〇

書 報 食 一七三〇

會 報 食 一七三〇

夕 報 食 一七三〇

消 報 食 一七三〇

直 報 食 一七三〇

各 報 食 一七三〇

本 報 食 一七三〇

但 報 食 一七三〇

三 報 食 一七三〇

月 報 食 一七三〇

七月五日 藤本 尉 廣川 尉 栗 尉



廣川 尉 栗 尉



七月十日 晴 宿營地 中頭郡 嘉手納町 古堅国民 女子校内

七月十日 村山少尉 北条侯長
七月十一日 井上少尉 安川侯長
右ノ通り日直勤務ニ服スベシ

七月十日二二三日 於古堅国民学校

- 一 獨混連日命着丸捕
- 二 獨混連三本隊隊員命令
- 三 本職者月廿日 那西朝中に出張
- 四 獨混一五聯隊命令第八號着三項諸勤務ノ交代一上ハロ
ヨロ然ロロニ変更ス
- 五 十日 古川中尉 十日 北村中尉
- 六 十二日 杉浦中尉 食
- 七 以下繰返ス 日直司令 右ノ如ク服務スベシ
- 八 十日 連射砲中隊 十一日 工兵中隊
- 九 十二日 聯隊砲中隊 十三日 工兵中隊

東京小隊部

陸軍

一 守備地域外ニ出スル者ハ爾今聯隊長ノ認可ヲ受テ證明書ヲ
携行スルコトヲ要ス

二 外出者ノ服裝ハ左ノ通り勸行スベシ

三 守備地域内 外出ノ服裝ニハ鉄帽ヲ携行

四 守備地域外 軍装ニシテ背裏小銃ヲ除ク

五 青白附任官ノ少尉ノ考料資料ヲ提出コト

六 借用セル物品ニハ借用年月日 借用先ヲ明記シ
確實ニ返納スベシ

七 獨混一五聯隊命令第六號

八 獨混成第一五聯隊命令

九 中頭守備隊ハ未着部隊ヲ以テ守備ヲ増強ス

七月十日 古堅

國領地三隊ハ伊計島北端—城原—熱田原以北ノ地
 区ヲ伊江島地三隊ハ伊江島ヲ旅田直轄部隊ハ津堅
 島北端—神山南端—空壽先以南ノ地ニテ夫々守備ス
 二 聯隊(第三大隊)聯隊砲一小隊無線三箇分隊又ハ特設
 二 二四中队ヲ併セ指揮シ中頭地三隊トナリ津堅島北端—
 神山南端—空壽先ノ線(之ヲ含ム)線以北伊計島北端
 —城原—熱田原ノ線(之ヲ含ム)以南ノ地ヲ守備シ
 全武灣口及西海岸ヲ警戒スルト共ニ勝達半島基着部
 伊波東西ノ線ヲ飛行場附近ニ堅固ニ陣地ヲ構
 築セントス

情派真ニ止ヲ得テレ場合ニ於テモ北飛行場ハ確保スベシ
 3. 第一大隊(第三中队)及機南銃一分隊又特設警備步兵第二
 二四中队一小隊ヲ屬スハ北正面守備隊トナリ一部ヲ恩納
 及全武村附近ニ派遣シ西海岸及全武灣口ヲ警戒スルト

陸軍

共ニ主力ハ全武灣及西海岸ヨリ上陸スル敵並石川島附近ノ半
 島ヲ突進スル敵ニ対シ東恩納伊波北端附近ニ堅固
 陣地ヲ構築スベシ
 全武灣西海岸沖合附近ノ海岸ニ監視兵ヲ以テ直接警
 備セントス

4. 第二大隊(第五中队)一小隊又ハ西守備隊トナリ一部ヲ渡
 慶次附近ニ派遣シ該半島ノ警備ニ任センモ主力ハ北海
 岸及西海岸ヨリ上陸スル敵ニ対シ喜味附近ヨリ伊良島
 五ノ間ニ堅固ニ陣地ヲ構築シ尚一據点ヲ喜井納附近
 ニ構築スベシ
 國吉屋敷都屋及渡具知附近ニ監視兵ヲ配置シ
 共ニ坂平西方楚辺附近ニ撤陣地トシテマ堅固ニ陣地
 ヲ構築スベシ

5. 第五中队一小隊ハ南守備隊トナリ普天間東北附近ニ

位置以南方地ト交通ヲ確保スルヲ以テ	高地及普天間北方高地附近ニ監視哨ヲ配置シ夫々	方面ノ海上ヲ警戒スルニハ	6. 第三中隊ノ機雷艇(各隊艦船)ハ東守備隊ノ	7. 陸軍ノ敵ニ対シ其志川沖壘附近ニ堅固ニ陣地ヲ構	築スルヲ共ニ各一部ヲ平屋敷南端江洲南方三角標	9. 九附近ニ派遣シ警戒スルニハ	7. 各守備隊ノ戦平地域ノ境界ヲ	8. 連射砲隊長ハ北守備隊ノ	隊ノタメ至喜味伊良皆附近各四分隊陣地東守備
			ハ東守備隊ノ機雷艇ニ	陣地ヲ構	築スルヲ共ニ各一部ヲ平屋敷南端江洲南方三角標	9. 九附近ニ派遣シ警戒スルニハ	7. 各守備隊ノ戦平地域ノ境界ヲ	8. 連射砲隊長ハ北守備隊ノ	隊ノタメ至喜味伊良皆附近各四分隊陣地東守備
			ハ東守備隊ノ機雷艇ニ	陣地ヲ構	築スルヲ共ニ各一部ヲ平屋敷南端江洲南方三角標	9. 九附近ニ派遣シ警戒スルニハ	7. 各守備隊ノ戦平地域ノ境界ヲ	8. 連射砲隊長ハ北守備隊ノ	隊ノタメ至喜味伊良皆附近各四分隊陣地東守備
			ハ東守備隊ノ機雷艇ニ	陣地ヲ構	築スルヲ共ニ各一部ヲ平屋敷南端江洲南方三角標	9. 九附近ニ派遣シ警戒スルニハ	7. 各守備隊ノ戦平地域ノ境界ヲ	8. 連射砲隊長ハ北守備隊ノ	隊ノタメ至喜味伊良皆附近各四分隊陣地東守備

陸軍

隊ニ至テ大田附近ニ四分隊ノ陣地ヲ構築スルニ
 9. 聯隊砲隊長ハ各守備隊ノ戦平地域ノ境界ヲ
 陣地ヲ構築スルニハ
 10. 北守備隊 山城嘉加手河附近ニ四門
 西守備隊 至喜味伊良皆附近各四分隊
 東守備隊 大田附近ニ二分隊
 11. 二兵隊ハ比謝(吉里北方)ニ據テ構築シ其後第三
 隊ニ實施スル至喜味附近ニ據テ構築シ協カニ
 12. 砲明十日ヨリ二兵一分隊ヲ特設警戒備歩兵第二四中隊ノ
 實施スル工事ヲ指導セムベシ
 13. 特設警戒備歩兵第二四中隊ノ現任務ヲ續行スルヲ以テ
 在嘉手納部隊ヲ以テ嘉手納附近ニ據テ構築スルニ
 陣地ノ細部ハ現場ニ於テ指示スルニ
 14. 二兵一分隊ヲ配屬スル

12. 通信班長ハ無線電一部ヲ旅団通信隊長ニ配屬スルト
 兼テ六機無線ヲ各大隊ニ配屬シ残余無線並有線ヲ以テ北
 及西守備隊ハ聯隊本部ノ間ニ通信網ヲ構成スルベシ
 爾余ハ各守備隊ニ連絡ハ地方通信ハ警察通信鐵道
 順ヲ利用スルベシ
 13. 防護ニ特ニ注意ヲ要スル
 14. 各隊ハ極力地方官民ヲ使役シ速ニ地下設備ヲ構築
 空砲爆撃ヲ避シ人員兵器資材ヲ掩護ヲ確實
 ナラシムベシ
 15. 中頭地区隊ノタメニ大井附近ニ構築スベキ復原陣地ニ関シテ
 後合印ヲ
 15. 余ハ警備堅固民學校ニ在リ
 獨濶一五聯隊長 美田大佐
 下達法印刑交付

陸軍

四 昨命 第七號
 聯隊ハ第三ニ守備スル目的ヲ以テ一部ヲ東恩納伊波附近
 地ニ隊トナリ津堅島北端——神山南端——空寺先以北
 (ニトラ合ス) 伊計島北端——城島——熱田原(線道ト合)
 以南ノ地区ヲ守備スル目的ヲ以テ一部ヲ東恩納伊波附近
 ニ具志川仲塩屋附近及普天間附近ニ主力ヲ以テ座喜
 味附近ヲ伊良吉附近ニ衰リ堅固ニ陣地ヲ構築ス
 又此ノ情況真ニ止ムラエザレ場合ニ於テモ北飛行場ヲ
 確保スルニ
 2. 工兵中隊ハ此ノ第一據点ヲ構築シタル後 第二大隊ノ突
 施スル座喜味附近ノ據点構築ニ協力セシム
 尚明上ヨリ一分隊ヲ特設敬言備步兵第二四中隊ノ突
 施スル工事ヲ指導セシム

五月十日 一五ノリ
陸軍 獨濶一五聯隊長


3. 第一小隊ハ分隊長、指揮スル一、分隊ヲ特設敬言備歩
 兵第二四中队ハ在嘉手納部隊ニ配置シ嘉手納附
 近據点、構築ヲ實施セルベシ
 4. 村中少尉ハ速ニ比謝據点、陣地偵察ニ標示ヲ
 實施スルベシ
 5. 余ハ宿营地タル吉堅国民学校ニ在リ
 中隊長 北村中尉 主事
 下達法 小隊長ヲ集メ口達ス
 五 二中作命 第八號
 二兵中隊命令
 1. 中队ハ比謝西北方高地ニ七月十五日迄、陣地(射撃及
 交通設備ノ一部)ヲ構築セトス
 2. 井上少尉ハ嘉手納據点、陣地構築ヲ指導スルベシ
 中隊長 北村中尉 主事

陸軍

七月十一日

一 獨滯日命 第一號

七月十一日 吉堅国民学校

3. 第二小隊ハ比謝據点北方支点ヲ十三日夕迄ニ完成スベシ
 4. 第三小隊ハ(第一分隊残余ノ兵ヲ含ム)比謝據点南方支点ヲ
 十三日迄ニ完成スベシ
 5. 構築ニ當リテハ、 反斜面陣地ニ積上
 断面ヲ採用スベシ
 6. 爾余ニ付イテハ現地ニ於テ指示ス
 7. 余ハ五日ヨリハ、第三小隊ノ作業ヲ指導シ、第二小隊ニ
 至ル

中隊長 北村中尉

下達法 小隊長ヲ集メ口達ス
 六 行事 午前 中队全員爆薬梱包学科 至一三〇〇
 午後 工兵器材取扱法 学科 至一六〇〇

火曜日	晴後雨	宿管地	沖繩縣	中頭郡	嘉手納町	古堅国民	学校内
<p>獨之混成第一五聯隊命令</p> <p>各隊ハ炊事ニ差出シアリシ兵力ヲ本日一六〇〇中隊ニ 服歸セシムル</p> <p>各隊ハ七記三分ニ從ヒテ本日一六〇〇炊事勤務兵 ヲ差出スベシ</p> <p>速射砲 二名</p> <p>工兵 二名</p> <p>聯隊砲 二名</p> <p>陸軍伍長 小澤 英</p>							
十三日	聯隊砲	以下繰返ス					
十二日	速射砲	<p>部隊本部勤務炊事掛下士官ヲ命ズ</p> <p>獨混五聯隊日命第一九號第五項ハ之ヲ前除ス</p> <p>衛兵ヲ七、如ク差出シ服務スベシ</p>					
十一日	工兵	<p>速射砲</p> <p>十五日</p>					

陸軍

五月十二日	水曜日	晴	宿管地	沖繩縣	中頭郡	嘉手納町	古堅国民	学校内
<p>十三日 聯隊砲 以下繰返ス</p> <p>二行事 午前 考案断面ニ依リ器材置場ノ構築 午後 火焰發射器及爆菓投擲器ノ取扱ニ付テ</p> <p>一日 命 第一一號 於吉堅国民學校</p> <p>獨混五日命第一〇號第五項ハ之ヲ前除ス</p> <p>陸軍伍長 高橋宜之</p> <p>部隊本部勤務炊事掛 下士官ヲ命ズ(十二日附)</p> <p>衛兵ノ編成ヲテ通リ改ム</p> <p>司令</p> <p>歩哨掛 一</p> <p>歩哨 四</p> <p>起床ヨリ夕食迄ノ歩哨ハ表門ノミトス</p>								

勤務ハ之ヲ取止メ右以外ノ時間ニ於テ從前通りトシ

ニ線交代トス

4 明十三日ハバヨリコレヲ 第二回豫防接種ヲ實施ス

イ 順序

通信

歩兵砲

速射砲

工兵

警務室

中場

警務室

二 第一小隊 第一分隊 安川伍長以下十五名 特設警備歩兵

第三四中隊 (在嘉手納部隊) = 配属シ 嘉手納附近據点

陣地構築ニ指導ニ任ゼン

三 第二小隊 比謝據点 (右支店) 陣地 標示ニ構築

四 第三小隊 (第一小隊ニ三分隊ヲ含ム) 比謝據点 (右支店) 陣地 標示ニ構築

陸軍

陸軍中尉 北村

陸軍軍曹 藤巻

陸軍伍長 坂口 巨保

司 坂濱 新次

那覇市ニ於テ實施セル 築城幹部教育ヲ加ヘ

ニロロロ 宿營地トシテ

七月十三日

水曜日

晴

宿營地

中頭縣

中頭郡

嘉手納町

一 起床 〇三三〇

作業 午前

午後

二 第一小隊 一分隊 安川伍長以下十五名 特設警備歩兵

第三四中隊 (在嘉手納部隊) = 配属シ 嘉手納附近據

点陣地 (掩蓋機南錦座) 構築ニ始メ 坂南

三 第二小隊 比謝據点 (右支店) 前同 引續キ 陣地ニ構築ス

古堅國民 四 第三小隊 (第一小隊) 三分隊 (合) 中謝藤原 (謝藤原) 學校内 引續 陣地 構築

五 指揮班 古堅國民學校 (西) (五十) 各種 構築 陣地

六 日命 第一二號 獨之混成第五聯隊 日命 令 旅団 (七月十三日) 一二日 夜間の移動

中頭郡 嘉手納農林學校 (電カ 一 一番)

陸軍大尉 岡澤 同 中尉 北村 (同) 同 軍曹 藤原 同 伍長 坂口 正雄 同 北濱 一 同 北濱 一 同 北濱 一

七月十三日 七月十六日 間 軍 於 未 實施 七 日 築 城

陸軍

教育ニシテ 命ヲ 據テ 岡澤大尉 引率 以テ 十三日 〇八〇迄 軍司令部ニ 中頭スル

中隊命令

七月十三日	日直 輝 校	日直 下士官
七月十四日	藤本 少尉	岡口 伍長
七月十五日	村上 少尉	廣川 伍長
七月十六日	村上 少尉	小澤 伍長
七月十七日	藤原 少尉	恒川 伍長
七月十八日	村上 少尉	佐藤 伍長

右通 服務スル

日命 第一三號

七月十四日 一四三〇 於古堅國民學校

全曜日

獨之混成第五聯隊 日命 令

晴

司令

副官

宿營地

七月十五日

藤本 中尉

淡谷 曹長

冲繩縣	六月十六日	杉浦	中尉	岡田	軍曹
中頭郡	六月十七日	北村	中尉	石川	曹長
嘉手納町	六月十九日	岡澤	中尉	堀井	曹長
古堅國民	六月十九日	藤本	中尉	市川	軍曹
学校内	六月二十日	杉浦	中尉	岡田	軍曹
	六月二十日	北村	中尉	石川	曹長
独混五联	六月二十日	岡澤	中尉	村野	軍曹
隊命令	六月二十日	岡澤	中尉	村野	軍曹
豫八省略	六月二十日	岡澤	中尉	村野	軍曹

甲直勤務 右如之服務スベシ

一 第一小隊五分隊 安川 伍長以下十五名 特設警備步兵

二 第二四分隊 (在嘉手納部隊) 配属 嘉手納附近 據点陣地 構築 陣地 偽裝

三 第三小隊 比謝據点 (右支点) 前日 引續 陣地 構築

四 第三小隊 (第一小隊 三分隊 合) 比謝據点 (左支点) 前日 陣地 偽裝

陸軍

六月十五日	一 第一小隊 一分隊 安川 伍長以下十五名 特設警備步兵
土曜日	二 第二四分隊 (在嘉手納部隊) 配属 嘉手納附近據点 陣地 (掩蓋 機南銃座) 構築
晴	三 第三小隊 比謝據点 (右支点) 前日 引續 陣地 構築
宿營地	四 陣地 偽裝
中頭郡	五 第三小隊 (第一小隊 三分隊 合) 比謝據点 (左支点) 前日 引續 陣地 構築
嘉手納町	六 指揮班 古堅國民學校 校庭内 穹穴隆 断面 依 非常持
古堅國民	七 指揮班 古堅國民學校 校庭内 穹穴隆 断面 依 非常持
学校内	八 指揮班 古堅國民學校 校庭内 穹穴隆 断面 依 非常持

引續 陣地 構築 陣地 偽裝

五 指揮班 古堅國民學校 校庭内 穹穴隆 断面 依 非常持 出 用 壕 構築

七月十六日	一 器材作成、爲佐藤伍長以下四名比謝町鍛冶工場、出張
晴	二 第一小隊一分隊安川伍長以下十五名特設警戒備步兵
宿營地	第三二四小隊(在嘉手納部隊)西屬嘉手納附近據点
冲繩縣	陣地(機関銃座)、構築並ニ陣地修裝
中頭郡	三 第二小隊比謝據点 東側豫備陣地構築
嘉手納町	四 第三小隊(第一小隊二分隊ヲ含ム)比謝據点東側豫備
古堅國民	陣地、構築
學校内	五 指揮班古堅國民學校校庭内ニ空穴隆断面ニ依リ非常
独逸五聯隊	持出シ用壕、構築並ニ修裝
作命ヲ入テ	
省略ス	

陸軍

七月十五日	一 中隊長北村中尉以下四名那覇市ニ於テ實施セラレタル築城
月曜日	幹部教育ニ参加中、處短一、三〇歸營ス
晴	二 佐藤伍長等四名前日ニ引續キ比謝町鍛冶工場ニ於テ
宿營地	器材、作成
冲繩縣	三 命令第五號
中頭郡	獨ニ混成第五聯隊日日命令
嘉手納町	十五日直司令北村中尉トアルヲ藤本中尉ニ十九日藤
古堅國民	本中尉トアルヲ夫々北村中尉ニ變更ス
學校内	二 爾今公用、爲那覇市方面、出張ハ必ズ鉄幅ヲ携
	行、コト
	三 命令受領者、會報時必ズ時訂員參、コト
	四 中隊命令
月日	日直 輝校
七月十八日	日直 下士官
	日直 兵長

七月十九日	藤本 少尉	廣川 兵長
七月二十日	村上 少尉	廣川 兵長
七月二十一日	井上 少尉	坂口 伍長
七月二十二日	藤本 少尉	石鼻 兵長
七月二十三日	服部 少尉	廣川 兵長
七月二十四日	比謝 少尉	廣川 兵長
七月二十五日	比謝 少尉	廣川 兵長
七月二十六日	比謝 少尉	廣川 兵長
七月二十七日	比謝 少尉	廣川 兵長
七月二十八日	比謝 少尉	廣川 兵長
七月二十九日	比謝 少尉	廣川 兵長
七月三十日	比謝 少尉	廣川 兵長

一 佐藤 伍長以下五名前日引續キ比謝町鍛冶工場ニ於テ
 二 第一小隊一分隊安川伍長以下十五名 北谷村東方陣地内
 三 第一小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
 四 第二小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
 五 第三小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
 六 第四小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
 七 第五小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
 八 第六小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
 九 第七小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
 十 第八小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
 十一 第九小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
 十二 第十小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築

陸軍

宿营地	輕掩蓋機筒銃座、構築
中頭郡	三 第一小隊比謝據点西側台地ニ前日引續キ比謝町鍛冶工場ニ於テ
喜望峯納所	四 第三小隊(第一小隊ニ三分隊ヲ含ム)比謝據点西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
古堅国民学校内	五 獨逸一五作命 第一小隊 古堅国民学校
標三隊隊	六 第一小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
作命第十号	七 第二小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
省略	八 第三小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
	九 第四小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
	十 第五小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
	十一 第六小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
	十二 第七小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
	十三 第八小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
	十四 第九小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築
	十五 第十小隊比謝西側台地ニ各箇掩体及交通壕ヲ構築

中頭地区隊 命令
 一 地区隊ハ洞窟掩蔽部ヲ強化作業ヲ實施スルニ付、
 二 工兵隊長ハ工兵隊ノ主力ヲ以テ所在材料ニ依リ各隊ノ
 洞窟掩蔽部ヲ補強スベシ
 三 材料ノ取得ニ關シテ、現地ノ地方側ト協定スルヲ要ス
 四 各隊ハ工兵隊作業間ノ給養ヲ担任スト共ニ其ノ作業ヲ
 援助スベシ
 五 予ハ古堅国民学校ニ在リ

中頭地区隊長

美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交附

五月十九日

一 工中作命 第九號

五月十九日 陸軍省

水曜日

工兵中隊命令

晴

1. 嘉手納終止謝場点障地構築ハ概ル完成セリ

指管地

2. 中隊ハ現障地構築ヲ引續キ實施スルニ著シキ力ヲ以テ中頭

沖繩縣

地区隊洞窟掩蔽部ノ補修作業ヲ實施セリトス

中頭郡

3. 第一小隊(二小隊欠)ハ第四中隊ニ協力現在警備宿營中

嘉手納町

第二小隊(二小隊欠)ハ第五中隊ニ協力第二大隊本部宿營中

吉野國民

宿營

学校内

第三小隊(二小隊欠)ハ第六中隊ニ協力該中隊宿營地ニ宿營

4. 各小隊長ハ速ニ關係中隊ニ連絡シ作業細部ノ協定ヲ

陸軍

5. 作業實施間給與各々該地部隊ヨリ受取ル給與

6. 器材ニ關シハ別ニ指示ス

7. 余ハ中隊指揮班ニ在リ現在地ニ在リ

中隊長 北村中尉

下達法 各小隊長ヲ集メ口達ス

二 日 命 第五號

獨立混成第五聯隊ヨリ命令

1. 兵器修理並ニ器材製作實施ノ爲 自七月二十日尙々記通リ

2. 兵 聯隊砲連射砲 一大隊ニ大隊 各一名

3. 給與 受ケルモノトス

4. 佐藤伍長以下四名比謝町鍛冶工場ニ於テ器材

5. 佐藤伍長以下四名比謝町鍛冶工場ニ於テ器材